

**APPLICATION PROCEDURE FOR ADMISSION
TO THE GRADUATE SCHOOL
(DOCTORAL COURSE)
MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY
FOR
Computer science based cross-disciplinary innovation
program for international professionals
(CS-based cross-disciplinary program)**

DATE OF ENTRANCE: October, 2025

**室蘭工業大学大学院工学研究科
博士後期課程
学生募集要項**

**コンピュータ科学×専門分野でスマート社会を牽引する
イノベーション人材育成プログラム入試
(CS×専門プログラム入試)**

2025 度 10 月入学



Office of Admissions Strategic and Action Plan,
Muroran Institute of Technology
27-1 Mizumoto-cho, Muroran, Hokkaido, JAPAN 050-8585
E-mail nyushi@muroran-it.ac.jp
<https://muroran-it.ac.jp/>

〈 志 願 者 へ 〉

◎あらかじめ指導を希望する教員とはオンライン等を使用して、十分な連絡をとってから出願してください。指導教員については以下の URL を参照してください。

https://muroran-it.ac.jp/daigakuin/gsee/guidelines_gs/

◎室蘭工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人室蘭工業大学安全保障貿易管理規則」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

◎この要項に記載されている日時はすべて日本標準時です。

個人情報取り扱いについて

本学では、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人室蘭工業大学個人情報等管理規程」に基づき保有する個人情報の保護に努めます。

出願書類等により得られた個人情報は、本学の入学者選抜業務及び入学者選抜方法検討のための資料として使用します。また、入学者にあっては、教務関係(学籍, 修学指導等)の業務, 学生支援関係(授業料免除, 奨学金等)の業務に使用します。

室蘭工業大学大学院工学研究科の入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)

室蘭工業大学の基本理念は「自然豊かなものづくりのまち室蘭の環境を活かし、総合的な理工学教育を行い、未来をひらく科学技術者を育てるとともに、人間・社会・自然との調和を考えた創造的な科学技術研究を展開し、地域社会さらには国際社会における知の拠点として豊かな社会の発展に貢献する」ことである。

室蘭工業大学大学院工学研究科ではこの理念、教育目標、人材育成像、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、博士前期課程及び後期課程の人材育成像に掲げる「専門性と展開力」、「強靱性と俯瞰力」、「社会性とコミュニケーション力」を備えた人材を養成するため、それぞれ次のような人を求めている。

(1) 大学院工学研究科の求める学生像

1) 博士前期課程

1. 科学技術に関する学士相当の基礎的な専門知識を有する人
2. 高度な専門知識に加え専門分野を越えた知識と情報・データ処理技術を身に付ける意欲を有する人
3. 多様な課題の発見・解決に取り組む意欲を有する人
4. 豊かな教養を身に付け広く地域や社会と協働し貢献する意欲を有する人

2) 博士後期課程

1. 科学技術に関する修士相当の専門知識を有する人
2. 深化・高度化した専門知識に加え、専門分野を越えた広汎な知識と情報・データ処理技術を含む実践的な研究能力を身に付ける意欲を有する人
3. 複雑で困難な課題を俯瞰的に捉え解決に取り組む意欲を有する人
4. 豊かな教養と高度なコミュニケーション能力を身に付け広く国際社会や地域社会と協働し貢献する意欲を有する人

(2) 博士前期課程の各専攻の求める学生像

1) 博士前期課程環境創生工学系専攻の求める学生像

自然環境や社会環境の変化を踏まえて環境と調和した持続可能な社会を構築していくため、以下のいずれかの環境関連分野を専門として、専門分野を越えた知識・能力を獲得する意欲と、それを達成するための基礎的素養を有する人。

- ・ 化学反応や生物機能を高度に利用する有用物質の創製、それらの物質、関連現象を適用するシステムの構築や生活環境向上技術の確立などに関する研究・開発
- ・ 建築物や地下空間を含む社会基盤の構築・整備・保全や防災に係わる研究・開発
- ・ 人々が快適で安心して暮らすことができる都市や居住空間の創出に向けた計画・設計・施工に関する研究・開発

2) 博士前期課程生産システム工学系専攻の求める学生像

システム技術集約の成果である航空宇宙機や次世代ロボット、これらを支える機械工学分野、及び先進材料の創製・開発に求められる物性物理・材料科学分野における基盤研究の推進・融合により、従来の枠組みを超えたシステム創出や要素技術開発に発展させることによって、環境問題やエネルギー対策など、複雑化する課題の解決に貢献する意欲と基礎的素養を有する人

3) 博士前期課程情報電子工学系専攻の求める学生像

- ・ 情報システムと数理データサイエンス、電気エネルギー、通信システム、電子デバイス、光・量子計測技術、制御技術に関わる情報工学・電気電子工学分野の体系的な知識と専門能力を備え、コミュニケーション能力、チームワーク力、倫理観、自己学習能力などを有し、時代の変革に対応して研究開発を遂行する意欲と基礎的素養を有する人
- ・ データサイエンス、AI、コンピュータ科学などの情報科学に関わる高度な知識と工学分野の専門能力を駆使して、多様な社会課題を解決に導く意欲と基礎的素養を有する人

(3) 博士後期課程工学専攻の求める学生像

本専攻では、以下のいずれかに該当する学生を広く求める。

- ・ 自然環境や社会環境の変化を踏まえて、環境と調和した持続可能な社会を構築していくための幅広い環境創生工学分野の複雑な課題に取り組む意欲と能力を有する人
- ・ 高度なシステム技術を駆使した航空宇宙機や次世代ロボットの研究開発、及びこれらを支える先進的な機械工学分野や物性物理・材料科学分野の複雑な課題に取り組む意欲と能力を有する人
- ・ 高い価値の社会的・工学的機能を創出する知能・情報システム、電気及び通信システム、電子デバイス計測に関わる情報工学・電気電子工学の分野の複雑な課題に取り組む意欲と能力を有する人

(4) 入学者選抜の基本方針

大学院工学研究科博士前期課程及び博士後期課程では、入学者選抜において以下を重視し、多様で個性豊かな学生を求めるために様々な入学選抜方法を実施する。

1) 博士前期課程

1. 専門分野の学士相当の基礎知識を有すること。
2. 高度な専門知識の獲得と多様な課題の発見・解決に取り組む意欲を有すること。
3. 英語を使って情報収集、発信する基礎的能力を有すること。

2) 博士後期課程

1. 専門分野の修士相当の知識を有すること。
2. 深化・高度化した専門知識の獲得と多様で複雑な課題の発見・解決に取り組む意欲を有すること。
3. 英語を使って情報収集、発信する能力及び広く協働するためのコミュニケーション能力を有すること。

コンピュータ科学×専門分野でスマート社会を牽引する イノベーション人材育成プログラム入試（CS×専門プログラム入試）

この選抜は、入学後に「コンピュータ科学×専門分野でスマート社会を牽引するイノベーション人材育成プログラム」へ参加する者を対象としたものです。

本プログラムではグローバル化が進む実社会でスマート社会を牽引できる次世代の「イノベーション人材」を育成することを目的とし、コンピュータ科学をベースとした分野横断型の研究・教育を行います。

1 募 集 人 員

専攻名	コース名	募集人員	
		A選抜	B選抜
工学専攻	先端環境創生工学コース	若干名	
	先端生産システム工学コース		
	先端情報電子工学コース		

注 A選抜は日本国外在住の外国人が対象です。

B選抜は日本人及び日本国内在住の外国人が対象です。

文部科学省（日本政府）奨学金について

A選抜合格者のうち、以下の国の出身者は文部科学省（日本政府）奨学金に申請することができます。（採用は3名です。）

インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス、など。
上記以外の国については入試戦略課にご確認ください。

※ 文部科学省（日本政府）奨学金を申請する際には、日本語又は英語のいずれかの能力基準が定められています。詳細は国費外国人留学生募集要項を確認してください。

2 入 学 時 期

本選抜が対象とする入学時期は「2025年10月」です。

3 出 願 資 格

次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 日本国において修士の学位又は専門職学位を取得した者及び2025年9月までに取得見込みの者
- (2) 日本国以外の国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (3) 日本国以外の国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (4) 日本国において、日本国以外の国の大学院の課程を有するものとして当該日本国以外の国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、日本国の文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者

- (6) 日本国以外の国の学校、上記出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、2025年9月までに大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院が認めたもの
- (7) 日本国の文部科学大臣が指定した者(平成元年文部省告示第118号)
- ① 日本国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2025年9月までに2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院が認めたもの
- ② 日本国以外の国において、学校教育における16年の課程を修了した後、又は日本国以外の国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該日本国以外の国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2025年9月までに2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院が認めたもの
- (8) 本学大学院が行う個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年9月30日までに満24歳以上となるもの
- (9) 日本国において大学、短期大学、高等専門学校又は専修学校専門課程等を卒業後、2025年9月30日までに満24歳以上となり、科学・技術関連分野において研究、あるいは業務上の経験を有する者で、著書、学術論文、学術講演、業務上の業績及び特許などにおいて修士の学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有すると本学大学院が認めたもの

注 上記(6)、(7)、(8)又は(9)により出願しようとする者は、事前の出願資格審査が必要となりますので、論文の別刷等及び卒業証明書と成績証明書を2025年2月14日(金)までに入試戦略課入学試験係へ提出してください。

4 障害等のある者の事前相談

障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)等のある者で受験上及び修学上、配慮を希望する場合は、その内容によっては、本学が対応を決定するまでに時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に入試戦略課入学試験係へ申し出てください。また、日常生活において使用している補聴器、車椅子等を使用している場合も、同様に申し出てください。なお、受験上及び修学上の相談については、通年受け付けています。

5 出願手続

(1) 出願期間

2025年4月9日(水)～2025年4月21日(月)【土、日を除く】

(2) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
ア 入学志願票	記入項目欄全てに記入してください。
イ 写真	出願書類受付日前3か月以内に撮影した、上半身脱帽正面向きの写真(縦4cm×横3cm)を志願票の所定欄に貼ってください。
ウ 修了(見込)証明書 (原本又は原本証明)	出身大学又は在籍大学等の学長又は研究科長が作成したもの(原本と記載事項が同一の各公的機関発行証明書も可)とします。 博士前期課程(修士課程)又は専門職大学院修了(見込)者のみ提出してください。 ただし、修了見込証明書提出者は、入学時までには必ず修了証明書の提出が必要です。
エ 成績証明書 (原本又は原本証明)	出身大学又は在籍大学等の学長又は研究科長が作成し(原本と記載事項が同一の各公的機関発行証明書も可)、厳封したものとします。 <u>学部及び大学院について、各1部提出してください。</u>
オ 推薦書(様式任意)	出身大学等の学長、研究科長、出身大学の指導教員、勤務先上司のいずれかが作成したものと及び本学での受入れ指導教員が作成したものを <u>各1部</u> 提出してください。

カ 志望理由書	本学を志望した動機、理由等を日本語（400 字程度）又は英語（100 語程度）のいずれかにより記入してください。
キ 研究(希望)計画書	博士後期課程における研究(希望)計画を日本語又は英語により記入してください。
ク 修士論文のコピー及びその概要	<p><u>修士論文のコピー及びその概要（日本語 2、000 字又は英語 500 語程度に要約したものいずれか）を各 1 部提出してください。</u></p> <p>【博士前期課程(修士課程)修了見込みの者】 修士論文課題と研究の進行状況を要約したもの（日本語 2,000 字又は英語 500 語程度のいずれか）を提出してください。</p> <p>【専門職学位を授与された者及び授与見込みの者】 研究経過の概要(日本語 2,000 字又は英語 500 語程度のいずれか)を提出してください。</p>
ケ 住民票、在留カード又はパスポートのコピー	<p>国内在住の方 住民票（在留資格・期間が記載されたもの）、在留カードのコピーを提出してください。</p> <p>国外在住の方 パスポートのコピーを提出してください。 ※日本人の場合は不要です。</p>
コ 検定料 (30,000 円)	<p>クレジットカードの場合 決済完了メールを出願書類に同封してください。</p> <p>送金の場合 電信送金により払い込み、外国送金依頼書の写しを出願書類に同封してください。詳細は、「(4) 検定料の払込方法」で確認してください。</p> <p>【国費外国人留学生】 検定料は不要です。検定料振替払込受付証明書に代えて「国費外国人留学生証明書（様式任意）」（在籍している学校で作成。）を提出してください。</p> <p>【本学の博士前期課程から引き続き進学する者】 検定料は不要です。</p>
サ 在留資格認定証明書交付申請書 (Excel) (国外出願者のみ)	<p>以下の Excel をダウンロードし、記入したファイルをメールで入試戦略課に送付してください。 申請書類の記入方法、提出書類の作成方法については、「記入例」をよくお読みください。</p> <p>Excel https://u.muroran-it.ac.jp/oia/wp/wp-content/uploads/2022/09/Application_for_Certificate_of_Eligibility.xlsx</p> <p>記入例 https://u.muroran-it.ac.jp/oia/wp/wp-content/uploads/2022/09/Application_for_Certificate_of_EligibilityExample.pdf</p>

注① 上記ア、カ、キ及びサの書類は、本学所定の用紙を用いてください。
なお、用紙は以下のウェブサイトからダウンロードできます。

https://muroran-it.ac.jp/entrance/gsee/guidelines_gs/

- ② すべての書類は、日本語又は英語のいずれかで書かれていなければなりません。証明書等の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、和訳又は英訳を添付してください。
- ③ 出願資格(6)、(7)、(8)又は(9)で志願する者は、ウ、エの博士前期課程(修士課程)に係るもの及びクについては不要です。
- ④ 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ⑤ 希望指導教員は、定年退職等により受け入れができませんことがありますので、本学公式ウェブサイトです必ず確認してください。
https://muroran-it.ac.jp/entrance/gsee/guidelines_gs/
- ⑥ 出願にあたっては、事前に希望指導教員に教育研究内容等について相談してください。(A選抜の出願者はオンライン等を使用して相談してください。(希望指導教員と円滑にコミュニケーションをとるため、メールのみの相談は不可))
- ⑦ 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、ならびに試験において不正行為が確認された場合は、合格または入学を取り消すことがあります。

(3) 出願書類提出先

- ア 出願書類原本を国際スピード郵便や宅配便、簡易書留郵便で郵送してください。持参による窓口提出でも構いません。
- イ 出願書類を本学へ送付したことを E メールで連絡してください。

〒050-8585
北海道室蘭市水元町 27 番 1 号
室蘭工業大学 入試戦略課入学試験係
E-mail nyushi@muroran-it.ac.jp

(4) 検定料の払込方法

ア クレジットカードにより支払う場合、下記リンクに進んで、必要事項を入力してください。

<https://credit.j-payment.co.jp/link/creditcard?aid=123829&iid=11&mailauthckey=af17143c4a6944fd830f050fce5bcb6>

(株式会社 ROBOT PAYMENT のクレジットカード決済画面に移動します。)

※ 決済には手数料 900 円がかかります。



- イ 銀行振込の場合、下記の要領で以下の要領により出願期間内に届くように送金してください。
 - ・検定料は自国で発生する送金手数料及び円為替取引手数料を加算した金額を振り込んでください。(全ての手数料は、志願者の負担となります。)
 - ・外国送金依頼書の写しを出願書類に同封してください。

- ・電信送金
- ・振込方法：通知払
- ・振込銀行手数料：志願者の負担

送 金 す る 銀 行 口 座	
銀行名	北洋銀行
支店名	中島町支店
SWIFTコード	NORPJPJP
口座番号	普通 3968548
口座名義	国立大学法人 室蘭工業大学
検定料	30,000 円
検定料振込期間	2025 年 4 月 2 日 (水) ~ 2025 年 4 月 21 日 (月)

(5) 出願の留意事項

- ア 受理した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
検定料を振り込んだが室蘭工業大学大学院に出願しなかった（出願書類を提出しなかった、又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により、当該検定料相当額を返還します。返還の申し出は、速やかに行ってください。

返還に関する問合せ先

〒050-8585

北海道室蘭市水元町 27 番 1 号

室蘭工業大学 入試戦略課入学試験係

E-mail nyushi@muroran-it.ac.jp

- イ 検定料が振り込まれていない場合は、出願を受理しません。
- ウ 出願後、「合格通知書受取先」に変更があった場合は、速やかに入試戦略課入学試験係 E-mail 等で連絡してください。

6 選 抜 方 法

(1) 入学者の選抜

A選抜：書類審査の結果で判定します。

B選抜：口述試験及び書類審査の結果を総合して判定します。

(2) 試験日時

2025年5月10日（土）

試験科目・時間	内 容
口述試験 志望研究分野に関連する科目 10:00～	・研究分野に関連した科目の専門的学力 ・修士論文等に関するもの ・研究（希望）内容についての英語によるプレゼンテーション

7 試 験 場

室蘭工業大学：北海道室蘭市水元町 27 番 1 号

注 試験室については、試験日の前日に本学の教育・研究 3 号館 N 棟掲示板及び各学科掲示板に掲示するとともに、本学公式ウェブサイトに掲載します。

8 合 格 発 表

2025年5月23日（金）午前10時

合格者受験番号を本学公式ウェブサイトに掲載し、合格者には合格通知書を送付します。なお、不合格者には送付物はありません。

9 入 学 手 続

2025年6月2日（月）～ 2025年6月9日（月）※土、日、祝日を除く

入学試験に合格した者は、入学手続期間内に必要な書類を用意し、入学手続を行ってください。

入学手続に必要な書類及び入学料、授業料納入方法詳細については、合格発表後に送付する入学案内で別途指示します。

入学料 282,000 円【予定額】

授業料（参考） 267,900 円【予定額】

（年 額 535,800 円【予定額】を5月と11月の2期に分けて納入）

※本学の博士前期課程から継続して進学する者は入学料が不要です。

※国費外国人留学生は入学料及び授業料は不要です。

10 出願のための参考事項

- (1) 室蘭工業大学は国立の単科、工科系大学です。
- (2) 博士後期課程は博士前期課程修了後 3 か年の課程です。この課程に入学し、所定の単位を修得して研究論文を提出し、最終試験に合格した者に博士(工学)の学位が与えられます。
- (3) 外国人留学生の居住施設として「学生寮」及び「留学生宿舎」があり、空室がある場合は選考のうえ、入居することができます。なお、学生寮及び留学生宿舎については、原則として 1 年以内の入居に限ります。
- (4) 本学では、原則として二重学籍を認めていません。

11 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予について

- (1) 入学料免除の対象者
経済的な理由によって入学料の納入が困難であり、かつ学業成績が優秀と認められる者。
- (2) 入学料徴収猶予の対象者
経済的な理由によって納入期限までに入学料の納入が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる者。
- (3) 免除申請書または徴収猶予申請書を提出して受理された者は、免除または猶予の許可、不許可の決定があるまでは入学料を納入しないでください。納入した場合は申請が無効になります。
- (4) 授業料免除・徴収猶予については、合格発表後に送付する入学手続に関する書類で別途指示します。
- (5) 入学料免除または入学料徴収猶予制度を申請し、入学手続を完了させた後に入学を辞退した場合、申請は不許可となり、入学料を納入する必要があります。

入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予に関する問合せ先

〒050-8585

北海道室蘭市水元町 27 番 1 号

室蘭工業大学 学務課学生支援係

E-mail kousei@muroran-it.ac.jp

受付時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（正午～午後 1 時を除く）※平日のみ